

国語科学習指導案

1. 学年・組 第4学年〇組

2. 教材名 『プラタナスの木』 椎名 誠 作・中島 梨絵 絵 (使用図書・教科書：光村図書)

3. 単元の目標

- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像することができる。
[思考力・判断力・表現力等] (C(1)エ)
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。
[思考力・判断力・表現力等] (C(1)イ)
- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。
[知識及び技能] ((1)オ)
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
「学びに向かう力、人間性等」

4. 本単元で取り組む言語活動

「プラタナスの木」を読み、マーちゃんの視点でおじいさんへのビデオレターを協働学習支援ソフトで作成する。

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 (1)オ	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 (C(1)イ) ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像している。 (C(1)エ)	・学習の見通しをもって、積極的に登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像し、作品から伝わるメッセージをビデオレターにして伝えようとしている。

6. 指導にあたって

(1) 教材観

本教材は、小学4年生の少年が一人の老人との出会いと交流によって、自然への見方・考え方を変容させる物語である。

物語の中心人物「マーちゃん」には3人の仲間がおり、3年生まではみんな同じクラスであった。4年生になり、別々のクラスになった4人は、学校が終わるとプラタナス公園でサッカーをして遊ぶようになり、一人の「おじいさん」と出会う。おじいさんが話した「木の根の話」に対して、初めは意味がよく分からなかったマーちゃんだが、夏休みのでき事を通して少しずつ理解を深めていく。夏休み明け、プラタナス公園にあった、プラタナスの木が切り株だけになってしまったことで、再度おじいさんの話を思い出し、自然への見方・考え方を変容させていく。

登場人物は読者と同じ4年生の児童であり、物語の舞台である公園や夏休みのでき事も身近なこととして捉えやすいことから、人物の心情や情景を想像しながら自分の体験と重ねて読み深めることのできる作品だろう。

(2) 児童観 ※省略

(3) 指導観

本単元の言語活動として、おじいさんへのビデオレターを作成するという言語活動を設定する。ビデオレターは、中心人物(マーちゃん)の視点に立って、おじいさんの言葉について考えた内容を、おじいさんに伝えるという形で

録音する。映像には、マーちゃんがどのようにしておじいさんの言葉を理解していったかが伝わるような写真を選ぶ。教科書内の挿絵を使うのではなく、一人ひとりの読みの広がりや違いが表れるように、自分で取得した画像や映像を使うことを勧めたい。

今回動画の作成を単元の言語活動に据えたのには、二つの理由がある。

一つ目は、動画コンテンツが増えたことに伴い、これらに親しむ小学生がここ数年で急増したことだ。さまざまな動画コンテンツは、その内容や安全性から学校現場ではしばしばマイナスな評価をされることも多い。しかし、伝えたいことに合わせて画像を選ぶこと、表現を吟味して言語化すること、どんな声色、どんな速さで読むかが聞き手への響き方を左右することなど、言葉の見方・考え方を働かせないと、よい動画は生み出せないのである。児童に国語の見方・考え方を働かせて、動画を作成する言語活動を行うことで、これから児童が発信する立場になったときでも、言葉を正しく豊かに使える人になってほしい。

二つ目は、物語の読みの広がりを味わう楽しさを感じてほしいと考えたからである。このビデオレターには、児童がどのようにマーちゃんの心情に寄り添って考えを深めてきたかが表れる。それらを自分もつ語彙や表現力を最大限に活用して詰め込んだビデオレターには、一人ひとり違った個性が表れるだろう。作成した動画を見合うことで、「なぜそう考えたのか」と疑問をもち、感じ方の違いを知ったり、表現方法のよいところを見つけ、語彙を増やしたりするなど、一つの言語活動が多くの国語の力を育てることを期待したい。本時はこの言語活動の中核になる、マーちゃんの変容について考える学習を行う。

7. 単元計画 (全8時間)

次	時	主な学習内容	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	1	「プラタナスの木」の感想を書いて、問いをもとう。		<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで感じたことを、友だちと共有し、自分の考えを広げている。[思考・判断・表現] (発言・記述) ・学習の見通しをもって、積極的に物語を読んでいる。[主体的に学習に取り組む態度] (発言・記述)
		①題名読みをする。 ②「プラタナスの木」を読む。 ③感想を書く。 ④感想を交流して、問いをもち、つくった問いを協働学習支援ソフトで共有する。	①「プラタナスの木」の写真を見せて、作品世界のイメージを広げられるようにする。 ②範読の前に、めあてを共有し、これまでに学習した物語を読み深める観点(中心人物の変容・対人物の役割・キーアイテム等)を押さえる。 ③読むための観点を基に感想を書くよう促す。 ④問いを協働学習支援ソフトで共有することで、学習の方向性を確かめる。	
		大めあて マーちゃんの変容をとらえ、おじいさんへのビデオレターを作成しよう。		
2	2	物語の設定を確かめ、構造をとらえよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・時・場所・人物・でき事を表に整理しながら、場面の移り変わりを捉えている。[思考・判断・表現] (記述)
		①物語の設定を確かめ、それぞれの場面やでき事をおさえる。 ②マーちゃんの心情の変化が大きく表れる場面について検討する。	①児童から出た問いからつなげ、マーちゃんの心情の変化に関わる場面を捉えられるよう、表を使って場面とでき事を整理する。 ②「ある日」を軸にマーちゃんの変化を押さえる。 ③3・7・10 場面でマーちゃんの心情に変化があることに気づかせる。	
	3	3場面までのマーちゃんの変化を読もう。		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。[思考・判断・表現] (発言・記述)
		①めあてを確かめ、見通しをもつ。 ②1回目の「ある日」に起きたマーちゃんの変化を読む。(1・	②1・2・3場面を音読し、マーちゃんの心情に変化がある箇所に線を引く。 ②演劇的手法を取り入れ、マーちゃんたちとおじいさんを演じることで、関係性の変化や、心情の	

		2・3場面) ③おじいさんの言葉に対する4人の様子を読み取る。	変化を捉える。 ③おじいさんの言葉に対する4人の理解度を数値化し、読みを支える手だてとする。	
	4	夏休みのマーちゃんの変化を読もう。 ①めあてを確かめ、見通しをもつ。 ②4～7場面を演劇で表現し、マーちゃんが見たものや感じたことから心情の変化を読み取る。 ③5・6・7場面を比較し、マーちゃんの心情の変化について交流する。	②4～7場面を音読し、マーちゃんの心情に変化がある箇所に線を引く。 ②演劇によってマーちゃんだけでなく、森の様子を表現することで、森の様子の変化や木の根の強さに気づかせる。 ②台風の前でマーちゃんの心情が変化していることから、ベン図を使ってマーちゃんの心情を比較できるようにする。 ③マーちゃんに起きた変化をまとめ、前時で捉えた変化と比較することで、おじいさんの言葉に対する理解の深まりを捉える。	・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 [思考・判断・表現] (発言・記述)
	5	夏休み後の4人の心情を想像しよう。 ①めあてを確かめ、見通しをもつ。 ②夏休み明けの公園の様子を知った4人の様子を演劇で表現し、4人の心情を深める。(8・9場面) ③4人の心情の共通点を考える。	①夏休み中のマーちゃんの変化を振り返り、他の3人の行動も確かめることで、学習の見通しをもたせる。 ②夏休み明けの4人を演劇で表現することで、これまでの様子や行動との違いから心情を読み取る。 ③4人の心情の共通点から夏休みのでき事を想像し、おじいさんへの思いを明らかにする。	・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 [思考・判断・表現] (発言・記述)
	6	マーちゃんが物語を通してどう変わったかを考えよう。 ①おじいさんの言葉の理解度について振り返る。 ②9・10場面を音読し、マーちゃんの行動に問いをもつ。 ③マーちゃんたちになりきり、行動の訳を考える。 ④切り株だけになってしまったプラタナス公園で「変わらなかったもの」について考える。 ⑤マーちゃんが切り株の上で気づいたことを具体的に書く。	①初めて根の話聞いた3場面、台風後の7場面を通して、理解度がどのように変化してきたかを押さえる。 ②マーちゃんの行動に着目させ、「気になる行動は何か」と問うことで、マーちゃんの行動に対する問いを引き出し、主体的に考える土壌をつくる。 ③マーちゃんたちになりきって演劇をすることで、行動の訳に迫らせる。 ④「プラタナス公園は変わらない」という叙述を基に、明らかに変わってしまった見た目から、何が変わらないのかを考えさせる。 ⑤マーちゃんが気づいたことを、3場面・7場面と比較しながら書かせることで、マーちゃんの変容へとつなげる。	・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 [思考・判断・表現] (発言・記述) ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像し、人物の変容を捉えている。[思考・判断・表現] (発言・記述)
3	7	おじいさんへのビデオレターをつくり、グランプリを決めよう。 ①めあてを確かめる。 ②ビデオレターの作成方法について確認する。(協働学習支	①前時を振り返り、マーちゃんの変容とおじいさんへ会いたい気持ちや伝えたいことを想起させる。	・読み取ったことを基に、作品から伝わるメッセージをビデオレターにして伝え

	援ソフト、ビデオ編集ソフト、プレゼンテーションソフトを活用) ③評価規準 (●) を共有する。 ④おじいさんへのビデオレターを作成し、自己評価をする。	②一人ひとりタブレットでプレゼンテーションソフトを使って画像を作成し、ビデオ編集ソフトを使って動画にする方法を知る。動画は協働学習支援ソフトで提出し、共有する。 ③ビデオレターの評価規準 (●) を先に示すことで、作成するための手だてにするとともに、ビデオレターグランプリを決定することを伝えて児童の意欲を向上させる。 ④できた児童から、評価規準表で自己評価を行い、協働学習支援ソフトを使って提出する。	ようとしている。 [主体的に学習に取り組む態度] ●おじいさんの言葉をどう理解したかを入れている。 ●おじいさんの言葉を理解するきっかけになった事を入れている。 ●マーちゃん的心情や変容を入れている。 (動画)
8	①おじいさんへのビデオレターを鑑賞する。 ②班でビデオレターグランプリを決定する。 ③ビデオレターを見て、感じたことを交流するとともに、単元の振り返りを行う。	①評価シートを表計算ソフトで作成し、協働学習支援ソフトで共有して、評価をつけ、提出する。1位を3点、2位を2点、3位を1点として計算し、グランプリを決定する。 ③単元全体を振り返り、つけた力を捉えられるよう教科書の「たいせつ」を活用する。	

8. 本時の展開 (6/8時間目)

(1) 本時の目標

切り株の上に乗ったマーちゃん的心情を想像し、マーちゃんが気づいたことを具体的に捉えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。[思考・判断・表現]
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像し、人物の変容を捉えている。[思考・判断・表現]

(3) 展開

主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
①おじいさんの言葉の理解度について振り返る。	①初めて根の話を聞いた3場面、台風後の7場面を通して、理解度がどのように変化してきたかを押さえる。	
②9・10場면을音読し、最も気になるマーちゃんの行動を話し合う。	②マーちゃんの行動に着目させ、「気になる行動は何か」と問うことで、マーちゃんの行動に対する問いを引き出し、主体的に考える土壌をつくる。	
③マーちゃんたちになりきり、行動の訳を考える。	③マーちゃん役・花島くん役・クニスケ役・あらまちゃん役を決め、マーちゃんたちになりきって演劇をする。 インタビュー活動を取り入れることで、行動の訳に迫らせる。	・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 [思考・判断・表現] (発言・記述)
④切り株だけになってしまったプラタナス公園が変わらないのはなぜかを考える。	④「プラタナス公園は変わらない」という叙述を基に、明らかに変わってしまった見た目から、なぜ変わらないのかを考えさせ	

<p>⑤マーちゃんが切り株の上で気づいたことを具体的に書く。</p> <p>⑥次時について予告し、本時の活動と単元の言語活動をつなげる。</p>	<p>る。</p> <p>台風後も変わらなかった森とプラタナス公園を比較し、切り株だけになってしまった理由を考えることで読みを深める。</p> <p>⑤マーちゃんが気づいたことを、3場面・7場面と比較しながら書かせることで、マーちゃんの変容へとつなげる。</p> <p>⑥「マーちゃんが気づいたことを伝えたいのはだれか」と児童に投げかけ、おじいさんへメッセージを伝える活動につなげる。</p>	<p>・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像し、人物の変容を捉えている。[思考・判断・表現] (発言・記述)</p>
--	--	---

(4) 本時における具体的な児童の状況

おむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C) への手だて
<p>マーちゃんが切り株の上で気づいたことについて書いている。(記述)</p> <p>「マーちゃんは、プラタナス公園や夏休みの森のでき事を通して、根が公園や森全体を守っていることから木々の大切さ(根の大切さ)に気づき、<u>自然(プラタナス公園)を守って</u>いこうと考えた。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3場面や7場面のマーちゃん理解度と比較させる。 ・協働学習支援ソフトにためておいたノートを活用する。 ・ペアやグループなど対話的活動を行う。 ・板書にマーちゃんの気づきにつながる考えを残す。